

ギガ GIGAスクール構想について

～ 1人1台端末は令和の学びのスタンダード～



令和2年12月

中野市教育委員会事務局学校教育課

現在、中野市教育委員会では、国の GIGA スクール構想に基づき、児童生徒 1 人 1 人に貸し出すタブレット等の整備を進めています。

タブレットによる本格的な学習活動は、次年度からになりますが、令和 3 年 2 月末には各学校に配備する予定です。

学校で活用ルールや情報モラル教育を充実させた後、各家庭へ持ち帰っての学習活動も想定しています。

今回は、GIGA スクール構想の概要と中野市での整備状況などをまとめましたので御一読ください。

～目次～

- ・ GIGA（ギガ）スクール構想って何？ … 1
- ・ なぜ 1 人 1 台の端末が必要な？ … 1
- ・ どのように使っていくの？何ができるの？ … 2
- ・ いつまでに整備されるの？ … 3
- ・ 具体的に何が整備されるの？ … 3
 - 校内無線 LAN 環境整備 … 3
 - 1 人 1 台端末（タブレット）整備 … 4

GIGA (ギガ) スクール構想って何？

令和元年 12 月に文部科学省から打ち出された施策で、**校内無線 LAN 環境 (学習系ネットワーク)** と小学校・中学校の児童生徒が使用する **1 人 1 台の学習者用端末 (タブレット等)** を一体的に整備することで、資質・能力を一層確実に育成できる教育 ICT (情報通信技術) 環境の実現と、これまでの教育実践に最先端の ICT を組み合わせることにより、教師・児童生徒の力を最大限引き出すことを目的としています。

GIGA スクールの「GIGA」は、メガバイトやギガバイトなどのデータのサイズをあらわす単位のことでなく、「**Global and Innovation Gateway for All**」(全ての子どものためにグローバルで革新的な入り口を)の頭文字により表されています。

なぜ 1 人 1 台の端末が必要な？

これまでの教育実践に加え、ICT を最大限に活用し、これからの**学びのあるべき姿**とされる「積極的・能動的な授業・学習 (アクティブ・ラーニング)」、「子どもたち 1 人 1 人に個別最適化された学び (1 人 1 人の個性に合わせた教育)」、「他者と協働し主体的に取り組む学び」を実現するためです。

これらの学びをとおして、子どもたちがこれからの予測が困難な社会を生き抜くために必要な【**自ら課題・問題を見つけ、自ら学び・考え、そして判断・解決していく力**】をもった子どもの育成を目指していきます。

1 人 1 台端末は、**令和時代の「学び」のスタンダード (標準)** となり、鉛筆やノートと並ぶ「**新しい文房具**」として※家庭への持ち帰りも含め、日常的に活用されることとなります。

※各家庭のインターネット (Wi-Fi) に接続して学習する場面も想定しています。
その際の通信費は、各家庭のご負担でお願いすることになります。

どのように使っていくの？何ができるの？

GIGA スクール構想により整備された環境が様々な面で活用されていきます。

例えば・・・



- ・情報を検索し、収集・整理します。
- ・子ども自身が、様々な情報にアクセスし、主体的に情報を選択します。



教科書にある QR コードをカメラで読み取り、インターネット経由で学習の参考になる情報を閲覧します。



写真や動画による記録や資料、作品の制作を行います。



自分自身の考え方をまとめて、みんなで共有しながら学び合います。



資料の共有や課題等のやり取りを行い、また、アンケート機能などで簡易な小テストを行うこともできます。



感染症や自然災害などで学校に行けない場合でも学びを止めないために、ビデオ通話などによりオンライン授業が可能となります。

現在、市内の各小中学校の教頭先生、研究主任、情報担当の先生からなる「中野市小中学校 ICT 活用研究委員会」を設置し、配備される端末をどのように活用していくのか研究を行っています。

いつまでに整備されるの？

中野市では、※国の補助金などを活用し、各学校における**校内無線 LAN 環境等整備**を令和 2 年中に完了させ、**1 人 1 台の端末**については、**令和 3 年 2 月末**に各学校に配備する予定です。

※校内ネットワーク整備に係る財源

国の補助金のほかに起債（借金）と市の一般財源により整備します。

国の補助金の対象は、ネットワーク整備においては普通教室分のみで、他に端末を充電する保管庫が補助対象となります。

※1人1台端末整備に係る財源

国の補助金のほかに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金と市の一般財源により整備します。

国の補助金の対象は1台 45,000 円を上限とし、補助基準日時点の児童生徒数の 2/3 の数が補助金の対象となります。

具体的に何が整備されるの？

■校内無線 LAN 環境整備



学習系ネットワークに係る LAN ケーブル、ルーター、スイッチなどの更改等を行い、ネットワーク回線の増強を図ります。



教室内（天井）に無線 LAN のアクセスポイントを設置します。普通教室、特別支援教室、体育館、理科室や家庭科室などの一部の特別教室に設置します。



端末を充電・保管するための充電保管庫を教室内に設置・固定します。

■ 1人1台端末（タブレット）整備



iPad 第7世代（Apple 社）

児童生徒・教師が使用する学習者用端末を配備します。
（キーボード付きケース、ブルーライトカットフィルム付き）

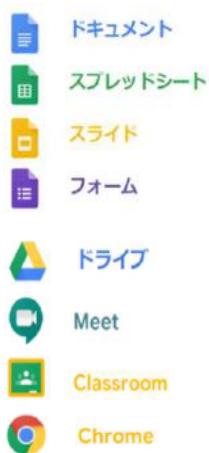
AI 型ドリル学習（家庭学習サービス）



現在も中野市で採用していますドリル学習サービス
ライズ e ライブラリアドバンスを引き続き利用
していきます。

確認テストをとおして、授業で学習したことを確認
できます。さらに、その結果に応じて自動構成された
課題に取り組むことで、自分の苦手やつまづきを補充
できます。

※クラウド型教育支援ツール



「Google for Education」（Google 社）

GIGA スクール構想ではクラウド活用が前提となっ
ています。

文書作成、表計算、プレゼンテーション作成ツール、
アンケートツール、ビデオ会議、協働学習支援ツール
などが利用できます。（G Suite for Education）

※ソフトウェアなどを直接端末に導入しなくても、
インターネットを通じて必要なサービスが利用
できること。



フィルタリングソフト

有害・悪質なサイトへのアクセスを制限し、配備する
タブレットからは閲覧できないようにします。

その他、教室にある大型提示装置への画面転送装置の整備なども進めています。

(参考)

■ 文部科学省ホームページ

GIGA スクール構想の実現について

https://www.mext.go.jp/a_menu/other/index_00001.htm

中野市教育委員会事務局学校教育課学校教育係

電話 : 0269-22-2111 (内線 419)

FAX : 0269-22-5901

Mail : kyoiku@city.nakano.nagano.jp